

船舶事故調査報告書

平成25年9月19日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵男（部会長）
 委員 庄司 邦昭
 委員 根本 美奈

事故種類	火災
発生日時	平成25年4月28日（日） 10時00分ごろ
発生場所	三池港北北西方沖 三池港北防砂堤灯台から真方位331°5,900m付近 （概位 北緯33°03.1′ 東経130°21.7′）
事故調査の経過	平成25年4月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 誠治丸、5トン未満 241-9070福岡、個人所有 10.00m (Lr) × 3.16m × 0.94m、FRP ディーゼル機関2基、397.18kW（合計）、昭和62年8月7日
乗組員等に関する情報	船長 男性 58歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成19年8月24日 免許証交付日 平成24年8月2日 （平成29年8月26日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	全損（沈没）
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、同乗者2人を乗せ、三池港北北西方沖を遊走中、平成25年4月28日10時00分ごろ、黒煙が、船体後部の機関室から出始め、すぐに操舵室内にも充満した。 船長は、機関を停止し、換気用ファンのスイッチを入れた後、同乗者2人と共に仲間の船に救助され、同船船長が、10時20分ごろ、118番により、海上保安部に救援を要請した。 本船は、消火活動中、沈没した。
気象・海象	気象：天候 晴れ、風向 北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していなかった。 本船は、平成25年4月30日に引き揚げられたが、即日、廃船処理された。

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、三池港北北西方沖を遊走中、機関室から出火したものと考えられる。</p> <p>本船は、換気用ファンのスイッチを入れたことから、被害が拡大した可能性があると考えられる。</p> <p>本船は、引き揚げられたものの、船体の損傷が激しく出火原因を特定できず、また、船長及び同乗者から情報が十分に得られなかったため、火災に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、三池港北北西方沖を遊走中、機関室から出火したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機関室等の配線は、適宜に絶縁抵抗の計測を行い、漏電や短絡につながる被覆の損傷等の有無を点検すること。 ・ 機関室天井付近に自動拡散型粉末消火器を装備することが望まれる。 ・ 機関室火災の場合、機関室通風機を停止し、機関室の開口部を全て閉鎖して密閉消火を試みること。